

■ 令和2年度第3回北杜市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会並びに北杜市地域包括支援センター運営協議会 書面会議

(注) ◎: 事業計画に反映したもの・するもの

□: 事業計画以外で対応するもの

○: 業務改善で対応するもの

委員から出された主な意見と対応

いただいた意見・要望	対応
<p>(1) 地域包括支援センター事業について</p> <p>① 介護予防ケアマネジメント委託契約</p> <p>ア) 承認について</p> <p>承認する 10人 (会長含む)</p> <p>承認しない 0人 ※7名報告なし</p> <p>イ) 意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 今後、遠隔地の委託先の増加も考えられるので、長期的な対応を考えてはどうか。(個別案件ごとの対応、独居生活までに長期間かかることの想定など) ■ 愛知県の事業所の委託料は現委託先と同一料金か。また、現地包括支援センターとのやり取りはあるのか。 ■ 一覧表に記載の北杜市以外の法人名についても、今回と同様な理由によるものか。 <p>(2) 第6次ほくとゆうゆうふれあい計画について</p> <p>① サービス見込み量等の推計(第1回目)</p> <p>ア) 意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 小規模多機能型居宅介護事業所(公募による)の整備については、検討会の立上げももちろんのこと、迅速な対応をお願いしたい。 ■ 愛寿会(仁生園)が認知症グループホームに転換した場合、現在、生活支援ハウスを活用している人達の対応はどうするのか。 <p>② 地域ケア会議から出された主な意見と対応</p> <p>ア) 意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域ケア会議から様々な課題が明確化されたため、今後の計画につなげていただきたい。 ■ 会議では様々な意見(困りごと解決策の案)が出されているが、実現(解決)するためには、市(各課)、外部組織、ボランティア団体など、また、従事する人(ヘルパー、看護師、ケアマネなど)、介護者、医師など種々の個人の協力により、総合的な把握と実施体制の構築、そして具体的な実施が必要ではないのか。出されたたくさんの個々の案件を地道に一つずつ解決していくことが第6次計画を達成させることにつながると思うので、案件ごとにより具体的な実施可能な対応策を作成してはどうか。 ■ 高齢者の生活支援、権利擁護、社会参加、介護予防どれも大切なものであるため、第6次計画にしっかりと位置付けしていただきたい。 	<p>○承認につきまして、御理解いただきありがとうございました。</p> <p>○原則として、年度ごとに契約を締結することになります。</p> <p>○委託料は同額です。委託先についてはすでに家族が探している場合もありますが委託先を現地の地域包括支援センターなどに問い合わせながら決定します。</p> <p>○お見込みのとおりです。</p> <p>○御意見を参考に、地域課題の解決に向けて取り組みます。</p> <p>○愛寿会からは現在、生活支援ハウスに入居している利用者様は1名と聞いております。認知症グループホームへの転換は愛寿会の希望的観測であり、サービス見込み量等の関係上、ひとまず推計した次第であります。現時点ではどのように対応するかは不透明であります。</p> <p>○御意見を参考に、地域課題の解決に向けて取り組みます。</p> <p>◎具体的な対応策については関係機関と連携しながら協議を重ね、短期・中期長期目標を設定しながら対応策を一つ一つ検討していきます。</p> <p>○御意見を参考に、地域課題の解決に向けて取り組みます。</p>

■ 令和2年度第3回北杜市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会並びに北杜市地域包括支援センター運営協議会 書面会議

(注) ◎: 事業計画に反映したもの・するもの

□: 事業計画以外で対応するもの

○: 業務改善で対応するもの

委員から出された主な意見と対応

いただいた意見・要望	対応
<p>■ 昭和の時代のような近所付き合いを大切にするために互助の強化は必要。各地区での住民の意識改革のため、区総会時等に市から互助の強化について説明する時間を設けて、訪問型サービスをアピールするのはどうか。生活するうえで互助強化は最も重要だと考える。</p> <p>■ 地域ケア会議から出された主な困りごとをみると、ほとんどが独居老人に関すると思われる。高齢者のQOLの向上を目指すというが、それ以前の課題で、家族や地域の住民による支援が求められていることがわかる。今後、少子高齢化がさらに進む中、地域の支え合いによる自立支援・居場所づくりは急務である。地域包括支援センターが医療・福祉・介護の連携を推進し、問題の解決に向けて取り組んでいただきたい。</p> <p>■ 資料26ページ、カテゴリーは生活支援について、公の機関からの通知は読めるが内容が理解できないという声は以前より出されている。訪問時に声掛けするよう心掛けたい。(理事会で地区民協へ要請する等々)</p> <p>■ 資料27ページ、カテゴリーは見守り体制について、対象となっていない人達の見守りができていない、つまり、対象者以外だから見守りができていないのは当然である。地域の中で気になる高齢者として、年齢に関係なく独居老人優先で訪問するようにしてはどうか。また、地域の住民の方からの情報を手掛かりに関係機関から情報提供できないものか。民生委員の訪問する対象者は年々増すばかりで負担も大きく担い手不足も生じている。地域の声に応えるには、相方からの対策も必要ではないのか。地域ケア会議の内容は、各関係機関に伝達しているのか。</p> <p>■ 資料26ページ、カテゴリーは人材不足について、介護関係の賃金はその作業実態に比べると著しく低いと思われる。年齢を重ねるにつれ、介護等を職業とする人達と接する機会が増えてきたが、改めて昔流行った3K労働(きつい、きたない、きけん)という言葉思い出す。残念ながら、きつくて辛い仕事でそれが低金銀であれば勝負にならないと思う。その時代(高齢化社会)に多くの需要がある職業の賃金が安い(需要が増える程高くなれば)というのはいかがなものか。価格(賃金)の硬直性はこの制度の限界かもしれないが、運用面での改善を引き続き推し進めていただきたい。介護、福祉とは人の尊厳を支える高齢化社会における極めて重要な仕事(事業)そのサービスへの対価はそれにふさわしいものであることを願っている。</p>	<p>○ 計画が更新した年度は区長会において地域包括支援センターが介護保険事業計画について説明してきましたが、今後は介護支援課として定期的に説明するよう計画します。また、民生委員会議や保健福祉推進員研修会等での説明も検討します。</p> <p>○ 介護支援課として取り組みます。地域の支えあいや地域づくりといった視点ではその要となる社会福祉協議会と連携を図るとともに、地域内の助け合いについても地域福祉計画と整合性を図るうえで、福祉課と連携して取り組みます。また、日常生活体制整備事業につきましても、第2層協議体の充実を図れるよう、地域課題の共有を図りつつ支援をしていきます。</p> <p>○ 民生委員の御対応につきまして、御理解と御協力をお願いいたします。</p> <p>○ 見守り体制について、現状と課題を福祉部局と共有し検討します。また、地域ケア会議の内容は介護支援課内で共有しています。今後、福祉部局、健康増進部局を交えた庁内のサービス調整会議等で情報共有します。</p> <p>○ 参考までに、平成29年12月8日に閣議決定した、新しい経済政策パッケージでは、消費税率10%への引き上げによる財源、2%引き上げにより5兆円強の増収分を待機児童の解消、幼児教育・保育の無償化、高等教育の無償化、介護人材の処遇改善と財政再建とに、それぞれ概ね半分ずつ充当することになっており、令和3年度の新しい経済政策パッケージについては、対前年度と同額を要求していて、要求額は1,003億円となっております。この介護職員処遇改善加算の新規取得やより上位区分の取得、介護職員等特定処遇改善加算の取得に向けて、事業所へ社会保険労務士といった専門的な相談員の派遣による個別の助言・指導等、都道府県等担当者向けの研修の実施により、加算の取得に向けた支援を行うこととなっております。一方で、介護報酬改定への対応については、限られた人材を有効に活用する観点から、予算編成過程で検討されます。他方、市では介護人材の確保並びに介護事業所の質の向上及び介護職員等のモチベーションの向上を図り、介護という仕事の魅力を発信するため(仮称)北杜市指定地域密着型サービス事業所及び北杜市指定居宅介護支援事業所優良事業所・優良職員表彰制度の創設並びに現役世代を地域に定着させるとともに、介護現場</p>

■ 令和2年度第3回北杜市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会並びに北杜市地域包括支援センター運営協議会 書面会議

(注) ◎: 事業計画に反映したもの・するもの

□: 事業計画以外で対応するもの

○: 業務改善で対応するもの

委員から出された主な意見と対応

いただいた意見・要望	対応
<p>②取組と目標の設定 ア) 意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 結果にこだわらず、とにかくやってみることだと考えている。 ■ 新型コロナウイルスの影響により、どれだけの事業が実施されるのか先が見えない状況の中、取組と目標に対する評価に期待したい。 ■ 公民館カフェ実施地域は、はつらつシルバー事業と一緒に活動してはどうか。すべての地域で統一ということではなく、地域の状況により保健福祉推進員と介護予防サポートリーダーとの話し合いで検討し、実施回数や年齢的な上下のつながりを深めることができるのではないか。 <p>(3) 保険者機能強化推進交付金等について ①令和3年度保険者機能強化推進交付金等について ア) 意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 介護人材の確保のための取組を積極的に推進していただきたい。(資料51ページ3章2節部分) 	<p>で働きやすい環境の整備を行い、優良な人材の確保、介護人材の育成を図るための資格取得を支援するため、(仮称)北杜市介護人材資格取得支援事業助成金交付制度の創設を目指してまいります。</p> <p>○御意見を参考に、地域課題の解決に向けて取り組みます。</p> <p>◎参考までに介護予防担当では、いまだ収束の見えない新型コロナウイルスの影響で、通いの場やサロンなど活動を自粛している団体が数多くあり、外出しないことで生活が不活発となり、心身の活力が低下し虚弱化が進んでしまっています。未曾有の事態であるがゆえに、再開のための具体的な方策は見いだされていませんが、これからの地域包括ケアシステムの実現や地域共生社会を推進していくためには、新型コロナウイルスの拡大下でも、高齢者の活動の場を止めてはならないと考えています。長期的に新型コロナウイルスと付き合いながら生活をしていく「withコロナ」対策も指摘される中、また、今後、新種の感染症や自然災害が重積する可能性も否定できなから、これからの高齢者活動の運営は、介護予防と健康危機管理をセットで考えていかなければならない時代となってきます。コロナ禍ではあるが、こんな時代だからこそ「何かやってみよう！」という前向きな気持ちが大切になってきます。北杜市の介護予防事業も、安心という保証はないが、新生活様式の中で「まずはやってみよう！」を大事にし、高齢者の気持ちが高まる事業の展開、支援を行い、計画に掲げた目標に向け取り組んでまいります。気持ちが大切になってきます。</p> <p>○令和3年度より、健康増進課と連携した中で保健福祉推進員の在り方や、活動体制を見直し、介護と健康がより一体化となって事業に取り組めるよう協議を進めています。そのため、いただいた御意見のように、公民館カフェ等の通いの場で活躍する介護支援ボランティアと、はつらつシルバーを行う保健福祉推進員との連携は、地域の支え合い活動においてとても重要なことだと考えます。しっかりと地域の状況を把握した中で、地域にあった健康づくりが推進できるよう元気ハツラツに連携事業に取り組んでまいります。</p> <p>◎処遇改善や若年層、中高年齢層、子育てを終えた層、高齢者層等の各層や他業種からの新規参入の促進、離職した介護福祉士等の届出制度も活用した潜在的な人材の復職・再就職支援、離職防止・定着促進のための働きやすい環境の整備、介護の仕事の魅力向上、外国人介護人材の受入れ環境の整備、介護現場における業務仕分けやロボット・ICTの活用、元気高齢者の参入による業務</p>

■令和2年度第3回北杜市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会並びに北杜市地域包括支援センター運営協議会 書面会議

(注)◎:事業計画に反映したもの・するもの

□:事業計画以外で対応するもの

○:業務改善で対応するもの

委員から出された主な意見と対応

いただいた意見・要望	対応
(4)その他	改善、介護現場の革新等に、一体的に取り組むことを考えていきます。 ○特段なし。